

インターネットトラブルを防ぐために

発行：岩見沢市教育委員会 指導室 青少年センター

検索サイト〔Google、Yahoo!JAPAN など〕は、なぜ無料？

情報化社会の現代は「情報洪水時代」。例えば YouTube は「1分間に500時間以上（2022年）の動画がアップロード。このような「情報洪水時代」の中で、必要な情報を探すときに便利なのが〔検索サイト〕。その仕組みや注意点について Google を例に考えていきます。



ユーザー登録

*アカウント作成時に
・生年月日、性別、居住地、メールアドレスなどの入力 =ユーザー情報



*ユーザー情報

+

*「トラッキング」による情報

ユーザーが Web サイト内のどこを使っているかなどを追跡・分析

- ・サイトにどのように来たか
- ・どこを見ていたか
- ・何を知りたいのか
- ・どのような商品を購入したか
- ・どのような考えを調べているか

+

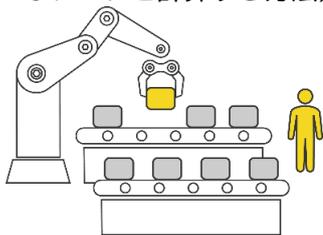
*検索エンジン〔ネット上の情報を集めるシステム〕
ネット上の情報を定期的に収集

*企業：広告の依頼・広告料の支払い
→無料で検索することができる。

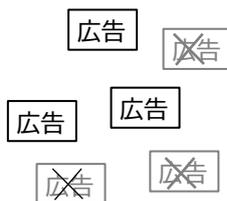


*これらの情報をもとに「アルゴリズム」が情報を取捨選択、検索結果（広告）を表示

アルゴリズム
(様々なデータを計算する方法)



*ユーザーの好みに
合った広告を表示



*ユーザーが知りたい
情報を上位に表示



重要ポイント！

- ・検索結果の上位にあるものほど「信頼できる・価値がある」とは、限らない場合があります。
- ・検索結果の情報（意見・考え）が同じような情報（意見・考え）にかたよる場合があります。

ですから、ネットで物事を調べる時は、ネットだけに頼るのではなく、他の方法で調べたり、他の人の意見や考えを聞いたり、実際に見たりすることが大切です。

